

## 5. 農業振興活動

当組合では、地域農業の振興に向けて、独自に「営農振興基金」を創設し、新規就農者や規模拡大を目指す生産者の育成・支援に取り組むとともに、営農組合の運営支援を行っています。また、JA本体での農業経営をはじめ農作業請負や農機レンタルなど、創意工夫に基づく事業を展開することにより、地域農業の維持・発展に寄与し、基本方針に掲げる『持続可能な農業の実現』を目指しています。

営農普及活動としては、いきいき農業大学を開講し、圃場実習や講義を通じて新規就農希望者等へ栽培管理・出荷等の指導を行い、販売農家の育成に取り組んでいます。

地産地消の取組みとしては、販売拠点となるファーマーズマーケット果菜彩 3 店舗（鈴鹿店・亀山店・稲生店）で、生産農家と消費者が直接対話できる関係づくりをすすめるとともに、惣菜センターで製造する地元産野菜を使用した惣菜の販売を行っています。また、鈴鹿市・亀山市の学校給食の食材として、米や青果物を納入し、安全・安心な地元産農産物のPRと使用率の向上に取り組むとともに、管内特産物の一つである鈴鹿のお茶のブランドイメージの定着と消費拡大を図るため、「鈴鹿茶ペットボトル」をオリジナル商品として企画・開発し、販売しています。

食農教育活動の一環としては、生産者と消費者の交流や子供の農業体験の場として、地域小学校への「出前授業」や体験農園「果菜彩ふれあい農園」を通じて「食」と「農」に対する関心を高め、地域農業の理解促進に取り組んでいます。

### ◆ JA 鈴鹿マスコットキャラクターのご紹介 ◆

#### 《イメージ・由来》

JA 鈴鹿の管内は大変自然に恵まれた地域です。緑と水は、食と農業には欠かせない大切なものであり、その二つが沢山あるこの地からますます農業が発展していくように、また、JA 鈴鹿がその事業活動を通して、夢のある地域づくりへ貢献し続ける存在であるようにとの思いが込められています。

#### 《デザインの特徴》

頭上の「水と葉のモチーフ」で、JA 鈴鹿の管内にあふれる自然を象徴しました。

帽子の部分は、「鈴鹿」→「鈴」→「ベル」を表しています。

また、管内の特産物の一つである「お茶」と「さつき」を用い、男の子の胸元には「お茶の葉」のスクarfを、女の子の胸元には「サツキの花」のブーケをデザインしました。

#### 《名前の意味》

特産物であるお茶と米をはじめとする、夢のある農業と、夢のある地域の実現をめざして、

男の子…「茶+夢」→「ちゃむ」 女の子…「米+夢」→「まいむ」と名付けました。

